

# 市政を問う！ 一般質問



門田 裕一 議員

## 公立学校施設の 防災機能の向上を

問

施設の耐震性の確保だけでなく、食料や生活必需品など必要物資の備蓄など十分な防災機能を備えることが求められているが、今後の取り組みは。

答 中村市長

耐震化のみならず、貯水槽、備蓄倉庫等を整備することにより、防災機能の強化を図ることが、安全・安心なまちづくりを進める上でも重要な施策と考える。

答 春田教育長

今後、文部科学省の方針決定を踏まえ、市の地域防災計画に基づいて、関係各課と連携して、安全・安心なまちづくりの視点からも、可能な限り学校施設の防災機能の向上に努めていきたい。

また今後は、国の動向を注視しながら、各省庁の財政支援制度の活用を検討したい。

## 被災者支援システムの 導入・運用を

問

このシステムを平時に導入・運用していくことが極めて有益だと考えるが、認識はいかに。

答 総務部長

この被災者支援システムは、西宮市が独自に開

発したシステムである。その動作環境として、基本ソフトであるリナックスに対応をしたサーバーが必要となってくる。本市の電算システムのサーバーは、これに対応をしていないので、初期段階で多額の費用負担が伴うといった問題点がある。

しかしながら、このシステムは災害発生時に復興業務を支援する多様な機能を有しており、魅力あるシステムである。今後、費用対効果や運用面の問題などさらに研究をしていきたい。

## 東日本大震災後に おける市民の声

問

- ①市民への情報提供として、図書館で震災関連圖書の展示を。
- ②防災無線の難聴対策
- ③大地震発生時におけるため池の安全対策

答 春田教育長

①災害からどのようにして命を守るか、自然とどのように対峙し、暮らしていけばよいのか、家族や地域の人々とのつながりやまちづくり、地域づくりのありようと、我々一人一人が改めて自身に問い直す機会ともなった。

そんな中で、市民の皆さんへの情報提供の一環として、図書館での震災関連図書や古文書等の展示について、防災関連部局とも連携を図りながら、関連コーナーの設置等に鋭意取り組んでいく。

答 総務部長

②難聴地域の対応策として、電話応答装置を設置している。これは、専用の電話番号946-7977の番号にかけると、聞き逃した放送内容を確認できる。

答 産業建設部長

③定期的な堤体の草刈りにより漏水の早期発見、落水時における内り面の樋管及び周辺の漏水は、特に注意して点検を行う必要がある。

異常発見に努めることが決壊を未然に防ぐ第一歩と考えており、ため池管理者に十分な指導、徹底を図っていきたい。

## その他の質問事項

- ・蜂・アレルギー対策を
- ・生活不活発病ゼロのまちへ



震災関連コーナー（鳥取県立図書館）